

お茶の水女子大学での一学期

建国大学

キム・ミンジョン

学籍番号 k2590006

お茶の水女子大学での留学生活は、忘れられない思い出になると思います。これまで外国で長期間生活した経験がなかったため、うまく適応できるかという不安が大きかったです。しかし、最初は見慣れず不安だったことも、少しずつ自分の生活の一部になっていく過程が、とても貴重な経験として残りました。

受講した授業の内容や進め方にもとても満足しています。グループディスカッションでは、さまざまな文化的背景を持つ学生の意見に触れることができ、自分の視野を広げたり、特定のテーマに対する自分の考えを深めたりすることができました。言語能力の向上だけでなく、価値観の形成にも大きく影響を与えてくれたと思います。最初は、日本語で授業を受けたり、自分の意見を発表したりすることに対して、大きなプレッシャーを感じていましたが、常に日本語を聞く環境にいたおかげで、先生や学生の言葉をメモしておき、あとで自分でも使ってみようと努力しました。そのような過程を通して、日本語に対する恐怖心もなくなったように思います。

学業以外にも、友人の家を訪れたり、週末に旅行をしたりと、日本にいる間にしかできないさまざまな体験をしました。月に一度は他の地域を訪れ、新幹線や登山電車、高速バス、自家用車など、さまざまな交通手段を利用できたことも新鮮な経験でした。また、東京にあるミニシアターを訪れて、日本ではしか見られない映画を観ることができ、とても良い機会になりました。行きたかった映画館すべてに行く時間がなかったことが少し心残りです。また、お茶の水女子大学が提携している博物館や美術館は無料で入館できるので、ぜひ行ってみてほしいです。特に、国立西洋美術館で私の好きな画家であるエル・グレコの作品を実物で見ることができ、とても嬉しかったです。

留学生をサポートしてくださった先生方、日常生活を支えてくださった寮の管理人の方々、そして国際課の職員の皆様に心より感謝申し上げます。また、一緒に留学生活を送った友人たちのおかげで、毎日がとても楽しかったです。別れるのは本当に寂しいですが、最初は不安だったすべてのことが、今では当たり前のように感じられます。韓国に戻ってからも、この半年間の経験を糧にして、さらに成長していきたいと思います。

